

授業科目名	【G】フレッシュマン・セミナーⅡ	区分	開講年次	【G】1	単位数	【G】2
		必修				
科目区分	基本科目					
授業形態	対面授業					
担当形態	単独					
施行規則に定める科目区分又は事項等						
サブタイトル	ニュースリテラシー入門編			担当者	見崎 浩一	
授業概要	【概要】	<p>身近にあふれている情報のうち、日々接するように心がけたいマスメディアからのニュースを通じて、大学生として「読む」、「聞く」、「書く」、「話す」の基礎的なスキルの更なる向上を目指します。</p> <p>マスメディアの基本的な概念から始め、特に新聞を中心にその役割や仕組み、記事の書き方、ニュースの読み方を習得し、さらに新聞以外のマスメディアの特徴や違いについても理解を深めます。ニュースをできるだけ多く読むことを習慣づけるようにし、一般教養や時事問題への関心も深めます。マスメディアやニュースをテーマにしたグループワークやディスカッションを通じ、思考力を発展させ、自らの考え発信などのプレゼンテーションも予定しています。</p> <p>【実務経験を活かした授業】</p> <p>新聞記者や編集デスクなど全国紙の新聞社に30年以上勤めたキャリアを持つ教員が、最前線で培った情報収集の技術や事実を正確に伝える能力をベースに、学生たちとニュースリテラシーを考えます。緻密な取材手法や客観的な報道姿勢を通じて、学生は情報やニュースを読み解く基礎的な能力を身につけ、世界の出来事をより深く理解し、自らの意見等を持つ力を養います。</p>				
	【到達目標】	<p>① ニュース記事の構造や要素を把握し、ニュースの背景や文脈を理解して情報を正しく理解する能力を身につける。</p> <p>② 新聞記事やニュースを通じて、情報を整理し、簡潔で分かりやすく書く技術を磨くことができるようになる。</p> <p>③ グループディスカッションやプレゼンテーションを通じて他者との意見交換やプロジェクトの企画・実行能力を高めることができるようになる。</p>				
履修条件	特にありません。					
アクティブラーニングの方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習
	【－】	双方向アンケート	【○】	グループワーク	【－】	対話・議論型授業
	【○】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL
ディプロマ・ポリシーとの関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①	－ (当てはまらない)				
	DP(ディプロマ・ポリシー)②	◎ (よく当てはまる)				
	DP(ディプロマ・ポリシー)③	◎ (よく当てはまる)				
	DP(ディプロマ・ポリシー)④	－ (当てはまらない)				
他科目との関連性	大学における学び(特に2年次以降)の基礎を身につけることを目的とした科目です。本演習で基礎知識・基本スキルを伸長し、教養演習へとつなげていきましょう。					
教科書	特にありません。					
参考書	<p>外岡秀俊(2006年)『情報のさばき方 新部記者の実戦ヒント』朝日新書</p> <p>池上彰(2019年)『考える力と情報力が身につく 新聞の読み方』祥伝社</p>					
評価方法	各週の振り返りと学習の成果物(30%)、時事ニュース小レポート(20%)、最終課題の準備・発表(30%)と作成した最終成果物(20%)					
フィードバック方法	Google Classroomを使用し、提出された課題についてのコメント等のフィードバックをします。					
評価基準	授業内容についてよく理解していると判断した学生にはその程度に応じてSまたはA、一部不十分な箇所がある学生についてはBまたはCとします。授業内容への理解自体が不十分な学生については、その程度に応じてDまたはEとします。全欠席など評価不能の場合にはFとします。					

授業 科目名	【G】 フレッシュマン・セミナーⅡ	区 分	開講年次	【G】1	単位数	【G】2
		必履修				
授業内容	<p>〈1〉イントロダクション: マスメディアから発信されているニュース (第1回) ニュースとは?</p> <p>〈2〉新聞メディア (第2回～第5回) マスメディアとして影響力を持っていた「新聞」とは何か? 新聞の役割や構造について学ぶ。この新聞に掲載されている1本、1本の記事を書いている新聞記者とは? 記事の書き方、記者の仕事や取材活動について理解する。 新聞のニュースを題材に、ニュースを分析し、ディスカッションする。</p> <p>〈3〉ネットニュース (第6回～第8回) オンラインニュースの利点や課題について考える。 ソーシャルメディアがニュース伝達に及ぼす影響を分析する。 インターネットニュースの信頼性とは? オンライン情報の信憑性を判断する方法を学ぶ。</p> <p>〈4〉時事ニュースから考える (第9回～第12回) さまざまなテーマを取り扱ったニュース(複数用意)から興味、関心をもったものを熟読し、内容を整理、要約。学生4～5人のグループでそれぞれ概略を発表する。</p> <p>〈5〉学生によるプレゼンテーション(第13回～第15回) 4回の個人ワーク、グループ内プレゼンを踏まえ、学生グループによる関心テーマ、ニュースについて考察し、議論して意見を集約する。プレゼンテーション用の資料を共同作成し、発表する。</p>					
予習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新聞の1面に掲載されている記事を毎日読むこと。あるいはNHKのニュース(19時か21時)を毎日視聴すること。あるいはインターネットのニュース(Yahoo!ニュース)に1日10分以上、毎日接すること。</li> <li>・自分のテーマに関する資料を収集すること。</li> <li>・プレゼンテーションの準備をすること。</li> <li>・授業ごとの予習時間は90分程度を目安としてください。</li> </ul>					
復習内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業で取り上げたニュース記事を要約し、その内容や主題を把握する。要約した記事に対して自身の意見や考察を加えることも求めます。</li> <li>・日常生活で遭遇するニュースや情報に対して、批判的あるいは吟味的に考える習慣を身につけること。</li> <li>・授業で行ったグループディスカッションの内容や議論を振り返り、自身の意見や考えを整理すること。</li> <li>・授業ごとの復習時間は120分程度を目安としてください。</li> </ul>					
その他	<p>GoogleClassroomやGoogleフォーム等を活用します。</p> <p>※Gか: 【必履修(〇お)】</p>					